



かみせや

横浜市立上瀬谷小学校 学校だより

令和5年1月31日

2月号

上瀬谷小学校教育目標

学び合う子

認め合う子

鍛え合う子

持続可能な緩やかな連携を目指して

副校長 柴田 耕治

「上瀬谷小学校地域学校協働本部」が開設されました。

地域学校協働活動とは、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、『学校を核とした地域づくり』を目指す様々な活動を指し、その「本部」とは、学校や地域からの相談・提案などの窓口、調整を担うために学校・地域コーディネーターを中心に編成された組織を指します。これを令和4年度内に横浜市では全校設置するものとしています。

ここ数年「地域・保護者と共に子どもの成長を見守る体制づくり」を上瀬谷小学校の重点目標の一つに掲げていますが、いくつもの追い風があり、今年度は本校にとって地域学校協働本部開設するにふさわしい時期となりました。例えば、PTAでは「ボランティア活動」に軸足を置いて取組を進めてきています。スポーツフェスティバル、きらぼか班はらっぱなかよしタイム、朝の読み聞かせ、カーテン洗濯、校庭の草取りなど、様々な活動に多数の保護者の方に参加協力をいただいています。

また、地域からも郷土学習のご提案など、「子どもたちのために何かできたらいい。例えば、地域の歴史学習のお手伝いなど。」というお申し出をいただいています。

そして何より、保護者・地域住民から江ヶ崎さん・山下さんのお二人が、学校・地域コーディネーターを引き受けてくださりました。今年度、「養成講座」を受講していただき、10月1日付、横浜市教育委員会から正式に委嘱されました。

お二人には次のような思いがあります。

「保護者・地域の中には、地域のために学校のために何かしたいという思いをもっている人はたくさんいるはずですが、役割をもつのは負担が大きいと感じる人も多いでしょう。単発の参加でも、自分を生かすことができれば、自己有用感も上がるし、住民同士、保護者同士のつながりも生まれます。わたしたちは、そういうお手伝いができるといいと思っています。だから、学校・地域コーディネーターを受けようと考えました。」
今後、多くの人に関わって実現していければ素晴らしいことだと思います。

地域学校協働本部では、早速、新たな活動に挑戦しようとしている子どもたちを支えようとしています。5年生の子どもたちが、上瀬谷の自慢ともいえる「桜」を未来に残すため、関係機関や外部団体の力を借りて、接ぎ木による桜の苗づくりと、それを守り育て続ける活動に挑戦しようとしています。この学校だよりと同日に発行される保護者の皆様へのボランティア活動の案内をご確認ください。

「できる人ができるときに、できることをやろうよ。」

学校・地域コーディネーターの江ヶ崎さんがPTA会長としても繰り返し語られる言葉です。緩やかなつながりを大切に、共に子どもたちを支え、自分もやりがいを感じられるような学校と地域の持続可能な連携を目指します。